

# ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局

●広島県立総合技術研究所  
畜産技術センター技術支援部  
〒727-0023

庄原市七塚町584番地

TEL 0824-74-0331

FAX 0824-74-1586

## 新出センター長の所信表明

- 今年からセンター長を拝命した新出昭吾です。
- 当センター職員60人は、畜産技術の実践者たるプロフェッショナルとして、畜産経営安定のためにスピード感を持って技術開発と技術支援の両輪を回します。2020農林水産業チャレンジプランに係るアクションプログラム等の行政施策の実行を強かに推し進めます。
- 重点取組項目として、①和牛用TMRセンター設立具体化支援、②凍結受精卵作出支援、③飼料イネ・飼料用米の生産利用の加速支援、④県産和牛のブランド化支援を実行します。
- 技術の定着には、関係機関の連携が不可欠であり、多様な考え方にもまれて練られた計画・実行こそが、隙のない強みとなります。畜産技術センターに期待下さい。



## 第49回春の七塚原写生大会開催

5月5日の子どもの日に、子どもたちや保護者の参加により七塚原写生大会実行委員会主催の写生大会が盛大に開催されました。

今年は晴天に恵まれ、参加者は昨年度よりも40名も多く、にぎやかでした。

畜産技術センターは毎年農場を開放し、写生大会に協力しています。家畜衛生には細心の注意を払い着衣や靴の消毒を行った後に家畜飼養ゾーンに入らせて頂きました。



参加者は、思い思いの場所に陣取り、牛、ヤギ、牛舎、トラクターなどの写生を行っていました。

特に牛やヤギなどを間近で見るのが初めての子どもたちは、大喜びでした。保護者の方々も、『子どもがとても喜んでいて、ぜひ来年も参加したい』と話しておられました。

表題の絵は、畜産技術センター長賞を受賞した庄原小学校3年生「國利いくと」さんの絵です。はつらつとした乳牛の絵で、飛び出してきそうです。



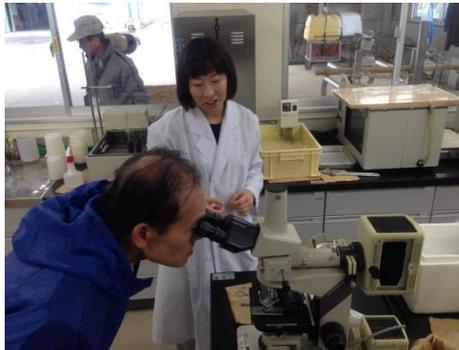
## 県立総合技術研究所長 センター来所(3/18)！

3月18日(金)松岡所長が畜産技術センターに来所されました。

それぞれ担当の研究員から、和牛用TMR生産利用技術の研究・移転・普及の状況、行政支援事業である受精卵供給事業の取組み、各研究課題の進捗状況を中心に説明を聞かれました。

今回の来訪の主な目的は、若手研究員の意見を聞きたいとのことで、若手研究員の説明に熱心に耳を傾けられました。

使命感を持って熱心に業務に取り組んでいる研究員の姿に感心して帰途につかれました。

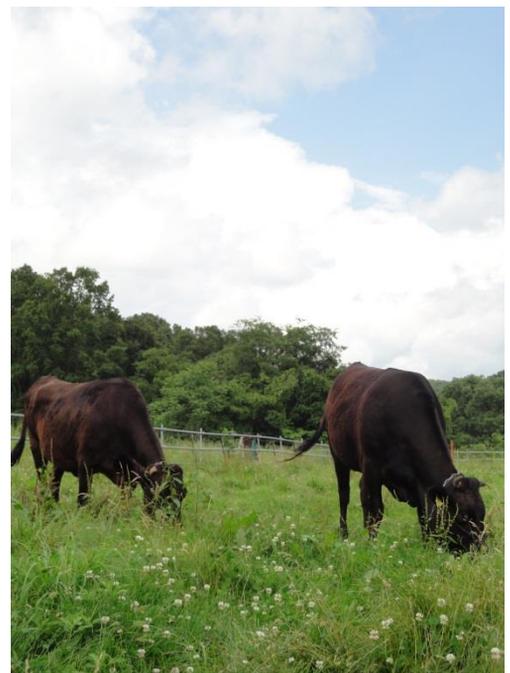


## 放牧始まる

和牛の放牧が5月から始まりました。おいしそうに牧草を食べています。

この牛たちは、乳用牛を借り腹として和牛子牛を増やす「広島血統和牛増産事業」で受精卵の生産を担ってくれる供卵牛たちです。

放牧場の面積は、2.6haで、毎朝放牧場に出て行き、夕方には牛舎に帰ってきます。



# 平成28年度試験研究課題及び行政支援事業一覧

チャレンジプランの実現を支える和牛TMR技術、和牛肉ブランド化技術、新たな受精卵技術の開発及び技術支援

課題名	研究種別	年度	内容概略	担当部
ダイレクト移植の受胎率を向上させる新たな技術開発	県単開発研究	H26 ～28	ダイレクト移植可能な受精卵のガラス化保存法と簡便・容易なガラス化胚移植技術を開発する。	育種繁殖研究部
和牛用TMR生産・利用技術の移転・普及	県単成果移転促進事業	H28	県産和牛の出荷頭数の増加と飼料コスト低減ためTMR調製・給与技術の開発、和牛用TMRセンターの設立にむけた技術移転を行う。	飼養技術研究部
競争力あるLED製造技術を県内多くの産業に移転するための研究	県単戦略研究(成果移転)	H28	ビタミンA測定器の製品化を支援する。	飼養技術研究部
高発生能卵作出可能な個別化対応型体外成熟技術の開発	県単事前研究	H28	採取した卵子が移植可能な体外受精卵になる割合を高める技術を開発する。	育種繁殖研究部
広島県産牛肉のうま味向上に関する研究	県単事前研究	H28	次世代差別化要素を持った牛づくりを目標とし、飼養と遺伝管理によるうま味成分向上の技術開発を行う。	育種繁殖研究部 飼養技術研究部
難培養性ホモ発酵型乳酸菌を用いた発酵飼料の好気的変敗及びカビ防止技術の開発	競争的資金研究	H26 ～28	新たに見出した難培養性ホモ発酵型乳酸菌を用いて、自給粗飼料の貯蔵における好気的変敗とカビ発生の抑制を図る技術開発を行う。	飼養技術研究部
繁殖成績の向上や栄養管理の高度化のための次世代精密家畜個体管理システムの開発	競争的資金研究	H27 ～30	開発センサにより暑熱の影響把握と授精適期の解明を行い、効率的繁殖技術を開発する。	育種繁殖研究部
和牛産地を支える水田里山の戦略的展開	競争的資金研究	H28 ～30	汎用型微細断飼料収穫機を活用したWCS用稲等の効率・低コスト収穫調製システムの開発、和牛用「たちすずか」TMRの開発・給与実証を行う。	飼養技術研究部
粳米サイレージ等を活用した低コスト牛乳生産技術及び和牛肉の差別化技術の開発と実証	競争的資金研究	H28 ～30	粳米サイレージ等を混合した和牛用TMR給与技術を開発し、牛肉の付加価値向上および斉一性向上効果により高い地域ブランド牛肉生産体制強化を図る。	飼養技術研究部
黒毛和種繁殖雌牛の枝肉6形質におけるゲノム育種価の実用化に向けた検証	競争的資金研究	H28	繁殖雌牛の枝肉6形質におけるゲノム育種価の実用化に向けた精度検証を行う。	育種繁殖研究部
家畜人工授精事業	行政支援事業	H27 ～	優秀な種雄牛を効率的に作出し、県有種雄牛の凍結精液を安定的に生産供給する。また広島県産和牛の受精卵移植の普及・定着を加速する。	育種繁殖研究部
広島血統和牛増産事業	行政支援事業	H28 ～30	TPP対策として酪農経営の収益性の向上と広島県産和牛の生産基盤の強化拡大を目指して、乳用牛から和牛子牛を生産するため受精卵の供給を行う。	育種繁殖研究部

## ●転入者紹介！

平成28年度の異動により、畜産技術センターに4名の転入者が着任しましたので、みなさんに紹介します。

### 【尾形康弘 育種繁殖研究部長】

西部工業技術センター材料技術研究部から、育種繁殖研究部に7年ぶりに戻ってきました。前任地では医療機器の開発ということで、再生医療に用いる、プラスチック製細胞培養器の表面プラズマ処理に関する研究を県内企業と行っていました。

現在、育種繁殖研究部では、種雄牛造成、ウシ体外受精胚生産、牛肉のおいしさ研究、ゲノム育種価、生体情報のセンシング、再生医療など盛りだくさんの課題にチャレンジしています。他センターでの経験を生かして、少しでも早く現場の皆様方に成果を普及できたらと考えています。



### 【長尾かおり 主任研究員】

1年で畜産技術センターに戻ってきました(新鮮味に欠ける新任者ですみません)。

技術支援部で、技術相談・技術指導等の窓口業務や広報業務などを担当しています。

天気のよい朝は、ヤギたちとの綱引き(放牧地への連れ出し)を楽しんでいます。「適度な運動」と「癒し」。デスクワークの多い技術支援部員の健康管理にも、ヤギは貢献しているのです。



### 【山本祐輔 主任研究員】

北部畜産事務所畜産振興課から育種繁殖研究部に2年ぶりに帰ってきました。2年前は、農林水産省の受託研究である「牛白血病ウイルスの感染拡大防止のための総合管理手法の確立」の研究開発を行っていました。

今回は、行政支援事業の「広島血統和牛増産事業」を担当して受精卵の供給を通じて2020チャレンジプランの実現を支えます。

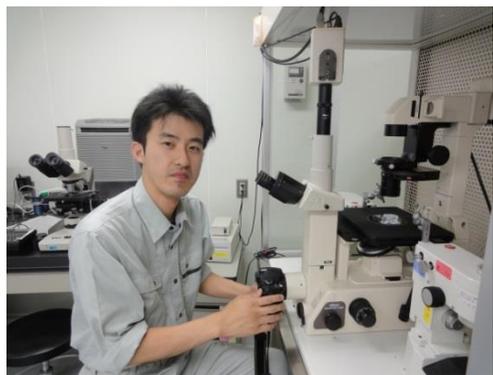


### 【山本哲史 研究員】

西部畜産事務所畜産振興課から育種繁殖研究部に配属になりました、山本哲史です。

初めての異動と業務で戸惑うこともありますが、周りは親切な方ばかりで、毎日楽しく仕事をさせていただいています。

現在は、体外受精卵の作出技術を習得中です。一日も早く受精卵増産に貢献できるよう、頑張ります！



編集後記: 前任者から、「ななつかの風」の編集発行を引き継ぎました。慣れない仕事のため発行が遅れて今に至ってしまいました。次号は、広島県産和牛の改良を担ってきた広島県種畜場(旧広島牛改良センター)の創設100周年を記念した特集を予定しますのでご期待ください。・・・HY